

NO.17

2009.9.25.発行

ぬくもり



鳥居(とりのい)橋 <県指定 有形文化財>



御沓(みくつ)橋 <県指定 有形文化財>



荒瀬(あらせ)橋 <市指定 有形文化財>

●CONTENTS

インフルエンザの大流行期に備えて 2
 業務紹介・・・・・・・・・・・・・・・・3
 地域連携・・・・・・・・・・・・・・・・4
 栄養課より・・・・・・・・・・・・・・5
 ご意見いただきました・・・・・・・・5
 供養盆踊り大会・・・・・・・・・・・・6
 医事統計総括表・・・・・・・・・・・・6
 新入職員紹介・・・・・・・・・・・・・・7
 石橋めぐり・・・・・・・・・・・・・・7
 外来担当医師一覧表・・・・・・・・・・8
 パートナーシップ方針・・・・・・・・・・8

基本理念

地域医療への貢献
「肌のぬくもりある医療」の実践

基本方針

- 一. 救急医療充実のため、診療連携の強化に努めます。
- 一. 高度医療の実施、チーム医療の推進に努めます。
- 一. 患者様の立場にたった医療サービスの提供に努めます。
- 一. 職員が働きやすく、誇りを持てる病院を目指します。

宇佐高田医師会病院

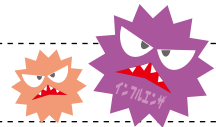
肌のぬくもりある医療

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635
 TEL.0978-37-2300(代) FAX.0978-37-2307
<http://www.utihp.jp/>



私達は笑顔を大切にします

インフルエンザの大流行期に備えて



秋から冬に向かって、季節性インフルエンザと新型インフルエンザが共に発生しやすくなります。当院での受診の流れは以下の通りです。

- ① 病院玄関前より職員が誘導します。手指消毒後、サージカルマスクをお渡し致します。北側玄関より入館します。
- ② 北側玄関内側の通路で受付を行い、問診表をお渡し致します。看護師が検温と問診表チェックを行います。重症か否かのトリアージを行い、中待合室にて待機して頂きます。
- ③ 診察室は第2アンギオ室の前室となります。
- ④ 入院が必要な方は、北側階段より3階感染病床へご案内します。
- ⑤ 診察終了後、看護師が会計にご案内します。
- ⑥ 会計後、薬剤師が服薬指導を行い、薬剤をお渡し致します。
- ⑦ 職員が出口まで誘導します。



Q1. 熱が出たらどうすればよいのですか。どういう症状があれば新型インフルエンザに感染したか疑うべきですか？

38℃以上の発熱があり、咳や咽頭痛等の急性呼吸器症状を伴う場合にはインフルエンザに感染している可能性があります。また、インフルエンザに感染している方との接触歴があるなども、感染を疑う上での参考になります。ただし、症状で新型インフルエンザと季節性インフルエンザを見分けることはできないと言われています。



なお、持病のある方々など、感染することで重症化するリスクのある方は、なるべく早めに医師に相談しましょう。

また、もともと健康な方でも、以下のような症状を認めるときは、すぐ医療機関を受診してください。

●小児

- ・呼吸が速い、息苦しそうにしている
- ・顔色が悪い（土気色、青白いなど）
- ・嘔吐や下痢が続いている
- ・落ち着きがない、遊ばない
- ・反応が鈍い、呼びかけに答えない、意味不明の言動がみられる
- ・けいれんの重積
- ・症状が長引いて悪化してきた

●大人

- ・呼吸困難または息切れがある
- ・胸の痛みが続いている
- ・嘔吐や下痢が続いている
- ・3日以上、発熱が続いている
- ・症状が長引いて悪化してきた



Q2. 新型インフルエンザの感染者が自宅での治療となった場合、家族はどうすればよいのですか？

- ・患者はなるべく家族とは別の個室で静養することとし、マスクの着用や「咳エチケット」を心がけてもらう
- ・手洗い、うがいを徹底し、マスクを着用する
- ・患者の看護や介護をした後は必ず石けんによる手洗い、またはアルコール製剤による消毒をすることをお願いします。



厚生労働省ホームページより抜粋



業務紹介 薬局

お薬に関することは何でもお気軽にご相談下さい!!

このメンバーで頑張っています。



●調剤業務

処方箋に基づき患者様ごとのお薬を調剤します。調剤する際に用法、用量、副作用などをチェックし、安心して患者様にお薬を服用して頂けるように努めています。外来患者様には写真付きお薬の説明書をお渡しし、飲み方、保存方法、飲み合わせ、副作用などについて説明します。



向かって左4名が薬剤師、右2名が事務職員です。



●薬剤管理指導業務

入院患者様にお薬の効果、効能、飲み方、副作用などについて説明します。患者様の服用歴を把握し、お薬の効き具合、副作用などをチェックします。



●注射薬調剤業務

注射処方箋により患者様一人ひとりの注射薬を取り揃えたり、安全キャビネットを用いて抗がん剤の調製等を行っています。



●お薬相談室

薬局の横でもお薬の相談を承っております。



●血液管理業務

当院は宇佐高田地域の緊急時血液備蓄施設として、血液を厳重に管理し、血液センターの依頼のもと他の医療機関へ血液の払出を行っています。



●薬品管理業務

医薬品は温度や湿度、光などの様々な要因によって影響を受けやすいため、それぞれに適した環境下で管理を行っています。

★入院される患者さんへお願い(薬局より)

ふだん使用されているお薬をすべてお持ちください。(飲み薬、インスリン注射、点眼薬、塗り薬、貼り薬など)

お薬手帳、お薬のしおり、メモなど他の医療機関のお薬の内容が確認できるものを一緒にお持ちください。

平成 21 年 6 月 16 日(火)午後 6 時より大研修室にて「経腸栄養について」の情報交換会を行いました。宇佐・豊後高田市の病院・施設 15 機関より 50 名の参加がありました。実施内容は下記の通りです。

内容	司 会：医療連携室 吉 田 茂 樹	・自己抜去する。 ・チューブの洗浄方法などについてどうしているのか？ など
	18：00 当院の経腸栄養法についての紹介 看護師 小野 康 佳 管理栄養士 佐藤 昌 代 看護師 後藤 喜代子	18：50 半固形栄養剤注入方法についての紹介 看護師 後藤 喜代子
	18：20 グループワーク 司会者、記録者、発表者を決めグループごとに経腸栄養の内容・問題点・疑問点を話し合ってもらおう。	19：00 アンケート記載、回収
	18：40 グループごとに経腸栄養の問題点・疑問点について発表 ・誤嚥性肺炎を繰り返す。 ・下痢を起こす。 ・半固形栄養剤についての知識等が職員にまだない。 ・欠食から経腸栄養への移行が良く分からない。 ・在宅に帰る時に液体・半固形のどちらが良いのか？ ・胃ろうからの栄養剤の漏れがある。	19：10 終了



今回の情報交換会は、第 1 回目で参加人数も少数ではないかと予想していましたが、予想以上の 15 施設 50 名の参加があり、情報交換についての関心の高さがうかがえました。グループワークでは、活発に情報交換が行われました。参加者の声では、「大変参考になり、これからも参加させていただきます。現場の声が聞けてよかったです。時間が足りないようがありました。」など前向きな意見が多く聞かれました。

感

反省点として、「職種別に分かるようにして欲しかった。病院と施設との意見交換が出来なかつた。」との声があり、グループ分けや、名札に職種まで記載など、もう少し配慮できればよかったですと思います。



想

実際に、経腸栄養について、薬を混ぜて注入する際の質問などもあり、多職種の参加、意見交換が出来ると良いと感じました。

今回に限らず次回も開催し、今回の反省点を活かし、患者さんの栄養について地域連携が図れるよう、また企画したいと考えています。

お知らせ

平成21年11月10日(火)～16日(月)は全国糖尿病週間です。
当院では、管理栄養士が期間中に外来にて糖尿病食についての栄養相談を実施したいと考えています。
糖尿病食について何かお困りのことがございましたらお気軽にご相談下さい。

栄養課より

『美味しくいただいてほしい!』の気持ちをこめて…
試食会を実施しました。



栄養課では、患者様個々の栄養管理の充実や院内の各部門・委託業者との連携を図ることを目的として毎月1回(第2水曜日)栄養改善委員会を開催しています。

今回は8月12日に委員会を開き、給食委託業者(日清医療食品)からの試食会を実施しました。

日頃より、病棟訪問時や嗜好調査の結果より肉の調理法について『硬くて食べにくい』などいろいろな意見があり、病院側より委託業者へ、肉の調理法についての改善をお願いしていました。

今回の試食会では、『肉の下処理を実施したも



の』と、『今まで通りの下処理なしのもの』との食べ比べを実施しました。



通常の委員会メンバーに加え、各病棟の看護師数名にも参加してもらって試食した結果は、下処理を行い調理したものは、とてもやわらかく食べやすいと好評でした。これから肉料理に関しては食べやすいものが提供できるのではないかと思います。

このように栄養改善委員会は月1回ではありませんが、各部門・委託業者と連携・調整を図りながら、入院患者様の食事に関して、より良いものを提供しようと努力しております。

ご意見いただきました

ご意見ありがとうございました。
文責 院長 中島 仁典

▼ご意見①

薬の袋に10°と書いてありました。父は「10度かな」と言って「10時」に内服するとは理解していませんでした。誰にでもわかる様に書いてくれませんか。間違えて飲んだら大変だと思い、ペンをとりました。

お答え・・・職員の不注意で大変ご迷惑をおかけして、申し訳ありません。安易に手抜きして思わぬ事故を招くことがあることを肝に銘じなければなりません。自分だけ、仲間内だけに通用するような表現は慎み、プロ意識を持っていつでも誰にでもわかる表現で丁寧に書くように徹底させていただきます。貴重なご指摘ありがとうございました。

▼ご意見②

ここ2~3日前から点滴をしています。仕事の関係上、夕方の点滴をお願いしたのですが、いつも「診てやってる」という態度に感じられます。それでもこの病院を頼っています。宇佐市内の病院では、ここに来れば安心というような「心あたたまる病院」になってほしくて、思い切って投書します。医師だけでなく、看護師さん、受付の方、みんなが患者を大切にすることをお願いしたい。

お答え・・・「肌のぬくもりある医療」を基本理念に掲げながら、職員の心無い態度で患者様に不愉快な思いをさせたこと、たいへん申し訳なく思っております。患者様の声を職員一同真摯に受け止め、なにより患者様を大切にして望まれる病院となるよう努力してまいります。

図書室へ

▼ご意見③

本の返却用ポスト(市民図書館のようなもの)があればいいのでは?

お答え・・・早速図書回収箱を5箇所に設置しましたので、ご利用ください。(設置場所:3F・4F 談話室、外来待合室、受付横、図書室内)



▼ご意見④

日中は土曜日・日曜日・祝日も開館すべきでは?

お答え・・・図書室は24時間利用できます。8月からは土・日・祝日を含め、9時~17時は自由に入出りできるようになっています。管理の都合上17時以降は施錠されていますが、利用は可能です。

ご遠慮なく最寄りの職員にお声掛けください。

※ご意見は、要約して掲載させていただいております。
ご了承下さい。

供養盆踊り大会



親睦会 会長
鶴岡 雅彦

去る8月29日(土)19時より当院3階駐車場にて、今年も伏田地区の区長様をはじめ、橋津・日足・和気・月ノ瀬地区の区長様、住民の皆様方のご協力もあり、当院親睦会主催の供養盆踊り大会を開催致しました。

幸いにも当日は天気にも恵まれ、徳光理事長、中島院長から物故者やご遺族の方々へ追悼の意が表され、供養盆踊りが始まりました。駐車場いっば



今回よりハッピーを新調しました

いに広がった大きな二重の踊りの輪はとても厳かで、大変良い供養を行うことができたのでは



ないかと感じました。

また、恒例のかき氷や綿菓子等の出し物、景品抽選会も好評で、盛況のうちに無事終われましたことを、ご参加頂きました皆様方へ厚くお礼申し上げます。

今年も供養盆踊り大会を通し地区の皆様、ご遺族の皆様、患者様とふれあうことが出来ました。来年以降も供養盆踊り大会を続けていきたいと思っております。その折には皆様方の多数のご参加、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。



■医事統計総括表 (4月～7月)

	4月		5月		6月		7月		
	20年度	21年度	20年度	21年度	20年度	21年度	20年度	21年度	
外来患者延べ人数(人)	1,558	1,477	1,582	1,445	1,522	1,624	1,778	1,644	
1日平均入院患者数(人)	90.2	90.7	91.1	85.0	91.2	65.6	94.4	70.7	
科別内訳	循環器	24.2	19.4	15.8	19.8	14.5	9.2	18.3	12.1
	消化器	17.7	20.8	18.9	17.1	24.6	15.0	24.0	11.2
	外科	22.9	30.1	28.3	26.5	29.7	21.6	28.8	27.7
	呼吸器	25.3	20.4	28.1	21.6	22.4	19.7	23.3	19.7
平均在院日数(日)	16.9	16.9	19.5	15.9	17.5	12.5	17.5	13.3	
病床利用率(%)	82.0	82.5	82.8	77.3	82.9	59.6	85.8	64.3	
紹介患者数(人)	237	340	273	296	339	393	406	434	
患者紹介率(%)	74.2	94.1	76.7	91.6	88.6	86.7	89.5	87.7	
救急車搬入件数(件)	61	74	73	79	62	64	82	75	



にしなか さとし
西中 啓

- ①H21・7・1
- ②薬局 薬剤師
- ③笑顔が心がけること。
- ④野畑に出かけること。



つつみ ちほこ
津々見千穂子

- ①H21・7・6
- ②3階病棟 看護師
- ③受けたいケアの提供
- ④寝る、演歌



くぼ ゆみこ
久保由美子

- ①H21・8・4
- ②3階病棟 看護師
- ③いつも笑顔で!
- ④旅行、スポーツ観戦



しまだ あきこ
島田亜紀子

- ①H21・7・6
- ②4階病棟 看護師
- ③コツコツと頑張ります。
- ④音楽鑑賞、ドライブ



たなべ えみ
田邊 恵美

- ①H21・7・14
- ②事務
- ③前向きに考える。
- ④ウィンドウショッピング



いわもと りょうへい
岩本 良平

- ①H21・5・11
- ②検診センター 事務
- ③初志貫徹
- ④ドライブ、読書



みつだ なみ
光田 奈美

- ①H21・7・1
- ②検診センター 看護師
- ③笑顔大切に。
- ④シジュウ作り(編物、髪がざり)

よろしく
お願い
いたします。

- ①入職日
- ②所属
- ③モットー (一言)
- ④趣味

広報委員M君の

石橋めぐり

みくつ ばし
御沓橋



水面に映る姿が大変優美な3連アーチの石橋

至宇佐市 国道10号線



みなさんも一度出かけてみませんか?

とりい ばし
鳥居橋



石橋の貴婦人と言われ大変美しい姿の5連アーチの石橋

あらせ ばし
荒瀬橋



めがね橋(2連アーチ)として最も整った石橋

“石橋王”松田新之助

ここで紹介した3つの橋のほか、院内町を代表する石橋を12基も架けた名棟梁で、工事途中で崩壊した「富士見橋」を私財を投げ売って完成させたというエピソードは有名です。

日本一の石橋づくりに生命を燃やした「石工の魂」に男のロマンを感じます。



外来担当医師一覧表

平成21年9月1日現在

時間帯	科 別	月	火	水	木	金	土
午 前	消 化 器	小野 英樹	中島 仁典	相馬 渉	中島 仁典	小野 英樹	中島 仁典
	内 視 鏡	相馬 渉	小野 英樹	小野 英樹	相馬 渉	相馬 渉	(再 来)
	循 環 器	副島 和典	陣林 伯男	副島 和典	陣林 伯男 ペースメーカー	陣林 伯男	—
	外 科	高松 祐治	柏木 孝仁	村上 光彦	古賀 裕	柏木 孝仁	—
	呼 吸 器	三重野 斉	—	—	三重野 斉	—	—
午 後	呼 吸 器	—	黒田 芳信	—	—	—	—
	血 液	—	—	—	—	中山 俊之 第2・第4	—

氏 名	専 門 領 域
中島 仁典	消化器 肝臓病 内科一般
小野 英樹	消化器 肝臓病 内科一般
相馬 渉	消化器 肝臓病 内科一般
副島 和典	循環器 内科一般
陣林 伯男	循環器科一般

氏 名	専 門 領 域
柏木 孝仁	消化器外科 下肢静脈瘤 外科一般
高松 祐治	消化器外科 甲状腺外科 外科一般
村上 光彦	消化器外科 外科一般
古賀 裕	消化器外科 外科一般
三重野 斉	呼吸器科一般

●外来受付時間

午前 8:30~11:00 (午後の特殊外来は、午後3:00まで受付)
 予約の患者様が優先になります。ただし、急患はこの限りではありません。
 ※当病院は、原則として紹介状が必要です。

●診療時間

午前 9:00~12:00 / 午後 2:00~ 5:00

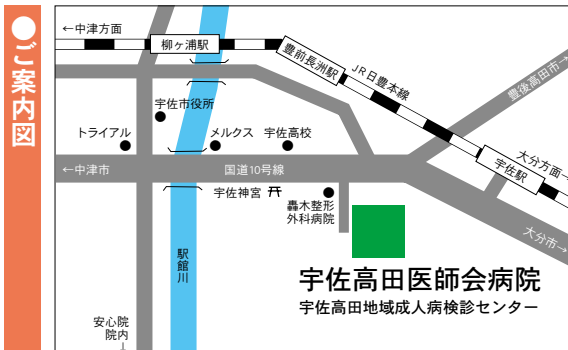
●休日

土曜日午後、日曜日、祝祭日、年末年始 (12/30~1/3)

編集後記

宇佐市院内町の石橋は、大小75基もあり、その数は日本一です。写真を撮ろうと間近で眺めると、その景観と歴史の重みに圧倒されます。一日では全ての橋は巡れませんでしたが、家族と癒しの時間を過ごせました。

皆様も一度ゆっくりと石橋散策をしてみませんか。日常とは違う表情の風景に出逢うことができます。
 広報委員



患者様と医療者のパートナーシップ方針

宇佐高田医師会病院では、地域の中核病院として、地域医療に貢献し、医療水準の向上に努めるとともに、心のこもった安心できる医療体制の構築、即ち「肌のぬくもりある医療」の実践を基本理念としています。また患者様との信頼関係を高めるため、患者様と医療者のパートナーシップの確立を重要な事柄とし、患者さま参加型医療の確立に取り組んでいます。

患者様の権利

- ・ご自身の状態や医療行為について十分理解できるまで説明を受けることができます。
- ・医療者から十分理解できるまで説明を受けた上で、自由意志に基づき医療行為を選択または断ることができます。
- ・主治医より受けた診断、治療方針について他の専門家に意見を求めたい場合は、セカンドオピニオン制度を利用することができます。
- ・ご自身の診療に関する記録などの情報に関して、開示を求めることができます。
- ・個人情報やプライバシーは保護されています。
- ・病院に対し種々の提言をすることができ、医療や看護行為について相談することができます。

患者様へのお願い

- ・ご自身の健康状態や変化は、速やかにそして正確に医療者にお伝えください。
- ・検査や治療などの医療行為は、十分な理解と合意の上で受けてください。書類に署名をしていただくことがあります。
- ・納得できないことや、理解しづらいことは遠慮せずにご質問ください。
- ・メモは遠慮なく取ってください。
- ・安全確保のためいろいろな場面で患者様ご本人の確認をさせていただくことがあります。
- ・薬剤の確認など、自らの医療に積極的に参加してください。
- ・病院の快適な医療環境の維持にご協力ください。

宇佐高田医師会病院 病院長

ぬくもり Vol.17 2009年9月25日発行

宇佐高田医師会病院

〒872-0102 宇佐市大字南宇佐635
 TEL 0978-37-2300(代) FAX 0978-37-2307

ホームページ <http://www.utihp.jp/>